

平成30年度

事業レポート

片瀬地区社会福祉協議会

目 次

片瀬のあゆみ	1
片瀬地区の概要	2
事業計画	3～5
活動報告	6～34
【高齢者福祉部会】	6～7
1. 散策事業 福祉バスツアー	6
2. 介護予防講習会（めざせ！元気シニア）	7
【障がい福祉部会】	8～11
1. 障がい者福祉講演会	8
2. 障がいへ対する理解を深めるための映画上映会実施	9
3. 部会研修会	10
4. 部会開催	11
【青少年・子育て福祉部会】	12～16
1. 児童交流会	12
2. 小学校1年生にお祝い	13
3. にこにこ広場に協力. 児童交流会	14
4. 出張かたせにこにこ広場 （まちづくり協議会ボラセンター運営委員会部会）事業に協力	15
5. 研修	16
【生活支援部会】	17～20
1. 地域にある生活支援グループを応援	19
2. 3. 「生活支援のボランティア集会」の開催	18
4. 他地区生活支援団体訪問	19
5. 部会定例会	20
【広報部会】	21～24
1. 広報紙 社協だより「しあわせ」発行	21
2. 「社協ニュース」発行	22
3. 片瀬地区ポータルサイトでの情報発信	23

【その他の事業】

24～34

1. 地区敬老会	24
2. 敬老事業	25
3. 地区新年賀詞交歓会	26
4. ねたきり高齢者への見舞品贈呈	27
5. 家族を介護している人のつどい	28
6. 片瀬地区ふれあいまつりへの協力 ～福祉バザー・掘り出し市～	29
7 片瀬地区ふれあいまつりへの協力～藤沢炒麺～	30
8. 日赤社資増強運動	31
9. 赤い羽根共同募金の推進	32
1 0. 年末助け合い募金運動の推進	33
1 1. 車椅子の貸し出し	34

片瀬のあゆみ

片瀬は、片瀬丘陵を背にし、西南面を境川をもって鶴沼と分かれ、丘陵の北端から前面に沿ってその南端までの間を細長く伸びた地形である。片瀬丘陵部を除いた全地域が砂質土の低平地である。

片瀬は、「固瀬」または、「潟瀬」とも書く。片瀬川は境川の片瀬地区を貫流する部分に名付けられたものである。

東西1.42km、南北4.29km、面積は3.02km²であり、昭和22年(1947年)4月1日藤沢市に合併した。当時、田畑は北部に多く、宅地は南部の腰越寄りに集中していた。

江の島は、片瀬の南海上に位置し、東は遠く三浦半島を望み、西ははるかに伊豆半島を眺めることができる、海拔60.4m、周囲約2,500m、面積約0.18km²の直角三角形に近い陸繁島である。

大正12年の関東大震災の際には、約1mも隆起したため、海中にあった蛸房が露出し、その殻が白く岩石面に付着している。

鎌倉時代には、固瀬駅が置かれた。鎌倉幕府が滅んだ後は、北条時代となり玉縄城の管轄におかれた。北条氏が滅んだ後は、天正18年(1590年)徳川家康の御料地となった。その後、成瀬、大久保、松平、井伊、細川氏と所轄を変え、最後は堀田鴻之丞が知行した。

江戸時代末期には、民戸は165あって、その多くは農業の間に漁釣を行い、それを藤沢宿にひさいで生活に資した。

片瀬と江の島とは、古くからいつも関係を共にしている。それは、地理的な理由と経済的な面からきている。ことに近世にいたり、江の島が景勝の地として知られ、江の島弁財天の信仰が高まって、参詣・遊覧者が多くなつてのちは、片瀬村民の生活の大部分は、そうした人々を相手にした収入によって支えられていたと言っても過言ではない。

その故をもつてか、明治維新から昭和22年(1947年)藤沢市に合併するまで数度行政上の変化を辿ったが、常にその所轄・所属を共にした。

明治元年(1868年)11月まで韭山県に属し、同年12月神奈川県所轄、明治4年(1871年)11月区制実施により第16大区第5小区に入り、片瀬江の島、手広、川名、腰越、津村などの旧津村郷が同小区に属した。

その後、区制の廃止(明治11年)、組合役場制などの行政措置を経て、明治21年(1888年)4月、町村制の実施に伴い、翌年4月30日に片瀬、江の島両村は合併して川口村となった。次いで昭和8年(1933年)4月1日、町制をしいて片瀬町と改め、日華事変、太平洋戦争を経て、昭和22年4月1日に藤沢市に合併した。当時(2月1日現在)の人口10,555人、戸数2,315戸であった。

片瀬地区の概要

区 分	市 全 体	片 瀬 地 区
面 積	69.56km ²	3.02km ²
人 口 ①	434,405人	20,475人
高 齢 者 数①	105,576人	5,790人
高 齢 化 率①	24.30%	28.28%
在宅ねたきり高齢者②	134人	14人
ひとり暮らし高齢者③	12,094人	414人

2019年4月1日現在

注

- ① 住民基本台帳による。
- ② 「藤沢市ねたきり高齢者台帳」による。
- ③ 「藤沢市ひとり暮らし高齢者台帳」による。

片瀬地区社会福祉協議会 平成30年度 事業計画

事業方針

少子高齢、核家族が進む地域社会の中で、高齢・障がい等により生活しづらい状況を抱えている方々、子育てに不安を感じている方々などが、安心して生活できるよう、身近な地域でふれあい、支えあう環境づくりに取り組み、温かみのある地域をめざします。

高齢者福祉部会

1. 事業テーマ	高齢者のふれあい、ネットワークづくりの推進
2. 事業目的・内容	高齢者が自分らしく元気に生活できるよう、社会的なつながりを増やし、地域の人々とふれあう機会の創出に取り組む。
3. 期待する成果	高齢者が社会的なつながりを持ち、日常生活の質の維持をめざす。
4. 事業内訳	1. 介護予防講習会（めざせ元気シニア）
	介護予防体操、健康講座など 年3回程度
	2. 散策事業
	普段外出する機会の少ない高齢者を対象
	福祉施設見学・市内散策など 年1回
	3. 部会開催

障がい福祉部会

1. 事業テーマ	障がい福祉の促進
2. 事業目的・内容	障がいのある人も地域の中で共に暮らせるよう、障がいに対する理解を深める取り組みをする。
3. 期待する成果	地域の方々の障がいに対する理解を進める。
4. 事業内訳	1. 障がい福祉講演会の実施 年1回程度
	2. 障がい福祉に関する施設見学 年1回
	3. 部会内研修会 随時
	4. 藤沢市障がいに関する施策検討委員会の傍聴
	5. 部会開催

青少年・子育て福祉部会

1. 事業テーマ	地域の子育て世代を応援しながら次世代を担う青少年を育てる
2. 事業目的・内容	乳幼児から青少年まで、また子育て中の保護者とつながり、世代毎にテーマに沿った交流をはかる。
3. 期待する成果	子育て世代の仲間づくりの促進、世代間交流の促進。
4. 事業内訳	1. かたせにここ広場に協力 2. 小学1年生にお祝いの品配布と地域情報の周知 3. 児童交流会 片瀬小3年生との世代間交流 4. 青少年施設視察研修 年2回程度 5. 青少協デーキャンプに協力 6. 部会開催

生活支援部会

1. 事業テーマ	高齢社会においても安心して暮らせる地域づくり
2. 事業目的・内容	介護保険の対象でない日常生活の不便を地域でどのように支えあうのか、また支えあうための担い手不足など、身近な生活支援に関わる課題の解決にむけての検討および情報提供。
3. 期待する成果	地域住民が互いに無理なく支えあう地域をめざす。
4. 事業内訳	1. 地域にある生活支援グループを応援 2. ボランティア講習会開催 3. 生活支援に関する地域情報の共有 4. 他地区生活支援団体訪問 5. 部会開催

広報部会

1. 事業テーマ	片瀬地区社協および地域福祉に関する情報の収集・発信・啓発
2. 事業目的・内容	広報紙「社協だより・しあわせ」および「社協ニュース」の全戸配布や片瀬地区ポータルサイトにおいて、社協の活動主旨や事業、地域福祉に関する情報を広く発信する。
3. 期待する成果	地域の方々に社協および地域福祉について理解し、参加していただく。
4. 事業内訳	1. 広報紙発行 年2回 2. 社協ニュース発行 年2回 3. 片瀬ポータルサイトにおいて情報発信 5. 研修会（必要に応じて） 6. 部会開催

社協全体で取り組む事業

事業テーマ	地域における生活支援の促進
事業目的・内容	地域住民による地域住民のための生活支援を促進するため、地域で活動する生活支援団体「福祉ボランティア・しおさい」等と協力する。
期待する成果	身近な地域でふれあい、支えあう地域の実現。

事業テーマ	居場所事業への支援
事業目的・内容	片瀬地区ボランティアセンター「ひだまり片瀬」で実施している、地域の縁側「居場所ひだまり」事業への協力を進める。
期待する成果	主に高齢者が身近な地域でふれあい、孤立することのない地域の実現。

- ・地区敬老会（９月）
- ・敬老事業
- ・地区新年賀詞交歓会（１月）
- ・ねたきり高齢者への見舞金贈呈
- ・介護者のつどい（年３回予定）
- ・地区ふれあいまつりへの協力（福祉バザー・掘り出し市・藤沢炒麺販売）
- ・日赤社資増強運動
- ・赤い羽根共同募金推進
- ・年末助け合い募金運動の推進
- ・車いすの貸し出し

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（高齢者福祉部会）～1～

1.事業名称 散策事業 福祉バスツアー

2.事業目的・内容 高齢者の触れ合いの場の提供
～わいわい市場での買い物、昼食会、日本大学博物館見学、鎌倉ハム工場見学～
大型バス利用 参加費1,500円

3.事業実績・成果 平成30年10月11日（水） 8:30～16:00

70歳以上の参加人数32名 従事者7名

- ・参加者相互の触れ合いができた。
- ・仲間づくりのきっかけの場となった。
- ・普段家にいることが多い方へ外出の機会を提供できた。



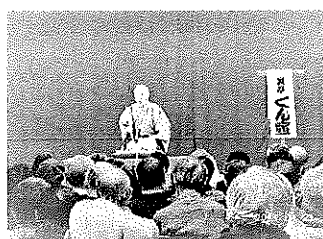
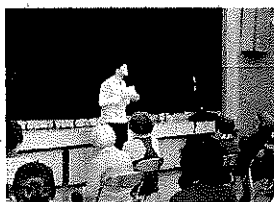
4.今後の取り組み ・福祉バスツアーは来年度は実施せず、高齢者のふれあいの場として「めざせ元気シニア」に注力していく予定。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（高齢者福祉部会）～2～

- 1.事業名称 介護予防講習会(めざせ元気シニア)
- 2.事業目的・内容 高齢者の触れ合いの場の提供、並びに自分らしく元気に生活が保てるように、笑いと体操を通じて健康維持にむけての実践と啓発。

- 3.事業実績・成果 (1)11月24日(土) 第1回 めざせ！元気シニア 開催
参加人数13名 従事者8名
鵜生園の会議室で出張元気シニアを開催
マジック、落語、体操、終了後体操の先生を交え
軽食を食べながら懇親会をひらいた。

- (2) 12月15日(土) 第2回 めざせ！元気シニア 開催
参加人数33名 従事者13名
落語、認知症予防のマッサージとつぼ等を教えていただき、その後8人づつに別れて懇親会を
食事を取りながら開催しました。



- 4.今後の取り組み
- ・高齢者の触れ合いの場の提供として、またいつまでも元気に生活が保てることを目的として来年度も引き続き、めざせ元気シニアを継続する
 - ・内容については検討
 - ・市民センター以外で開催する「出張めざせ元気シニア」を実施予定

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～1～

1.事業名称 障がい福祉講演会

2.事業目的・内容 障がいに対する理解を深めるための講演会
「障がいのある子って、どんな気持ち？」を開催。

障がいある子どもを持つ母親たちのグループ「座間キャラバン隊」による講演会。親だからその伝え方で、知的障がい・発達障がいを知るきっかけ作りを目的とした講演。

3.事業実績・成果

平成30年9月15日（土） 14:00～15:45

片瀬市民センターホール

参加者:31名（部会員9名含む）

講師:座間キャラバン隊

講演内容:

①知的障がい・発達障がいのある子どもたちの
行動や感じ方の疑似体験

②障がいの特性や関わり方のコツなどを説明 等
知的障がい、発達障がいのある人の特性や関わり方について、
体験を通して知ることができた。

4.今後の取り組み

来年度も障がいに対する理解を深めるための講演会等を実施する予定。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (障がい福祉部会) ～2～

1.事業名称

障がい福祉研修会

2.事業目的・内容

東北関東大震災障がい者対策本部製作の映画を鑑賞し、障がいのある人に限らず、高齢者など避難所で生活することが困難な人が大災害時に避難所で直面する実態を知る。

映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障がい者」上映

3.事業実績・成果

平成31年2月8日(金) 14:00～15:30 参加者 30名

19:00～20:30 参加者 13名

片瀬市民センター第2談話室にて

大災害時に、障がい者など弱い立場にある人の直面する状況を知ることができた。

片瀬地区でも、災害が起これば、同様の事態に陥ることに、あらためて気づかされた。

4.今後の取り組み

来年度も障がいに対する理解を深めるための啓発事業を実施する予定。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～3～

1.事業名称 部会研修会

2.事業目的・内容

片瀬中学校・片瀬小学校の支援級の生徒の様子を知り、地域として関りを深めていくことが必要であると感じ、特別支援学級について学ぶ。

中学校・小学校の特別支援学級訪問

(1)片瀬中学校文化祭にて、特別支援学級の活動発表を見学し、担当職員の方からお話を伺った。

(2)片瀬小学校学校公開日にて、特別支援学級(6組)を訪問し、授業の様子を見学した。

3.事業実績・成果

(1)平成30年9月22日(土) 10:00～11:00

参加者:7名

(2)平成31年1月18日(金)10:00～11:00

参加者:4名

片瀬中学校・片瀬小学校の支援級の生徒の様子を知り、地域として見守っていくことが必要であると感じた。

4.今後の取り組み

来年度も部会研修実施予定。(内容は未定)

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（障がい福祉部会）～4～

1.事業名称 部会定例会開催

2.事業目的・内容 事業の実施に向け、日程や内容について検討した。

3.事業実績・成果

- ① 5月11日(金) 16:45～ 市民センター
- ② 7月 7日(土) 13:00～ 市民センター
- ③ 9月 7日(金) 12:20～ 市民センター
- ④ 11月 7日(水) 13:30～ 片瀬ボランティアセンター
- ⑤ 11月28日(水) 13:30～ 市民センター
- ⑥ 2月28日(木) 13:00～ 片瀬市民センター

事業にむけての準備、今後の活動について話し合い、滞りなく事業を実施することができた

4.今後の取り組み

随時実施する。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～1～

1.事業名称 片瀬小学校児童交流会

2.事業目的・内容 平成31年 1月21日(月) 10時15分～12時30分
片瀬小学校 教室及び体育館等

3年生の社会科の時間に昔の生活と言う単元があります。
昔の片瀬・江の島地域の様子や勉強や遊び方などの話を通して、古くから片瀬にお住まいの高齢の方が、片瀬で育っていく地域の小学生に語り継ぎ、片瀬・江の島への郷土愛が深まることや住民参加による地域社会づくりを目的としています。

1時間目は1クラスが4グループに分かれて、そこに先輩の先生が入り、お話をしてくださいました。生徒たちは身を乗り出して、昔のお話を聞いていました。活発に質問もあり、あっという間に1時間目が終わり、2時間目は体育館に集合して、竹馬、竹ぼっくり、コマ回し、メンコ、割りばし鉄砲、紙鉄砲、ゴム飛び、羽根つき、お手玉、だるまおとし等昔の遊びに夢中になっていました。



3.事業実績・成果 昔の生活や遊びを、体験した方々から実際にお話をしていただき、子どもたちは最高の学習だったと思います。

4.今後の取り組み 毎年、続ける事が出来れば良いと思います。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～2～

1.事業名称

小学校1年生にお祝い

2.事業目的・内容

地域の子どもたちの健やかな成長を願い、片瀬小学校および地区内在住の新林小学校、私立小学校の新一年生にささやかなお祝いを贈りました。
小学生になって1人で遊びに行くことも多くなります。
夏休みを前に、遊びに出かける時に持って行けるように、呼子笛を差し上げました。
児童向けの手紙と、保護者の方には何か困ったことがあったら片瀬地区社会福祉協議会にご相談くださいという手紙をつけました。

3.事業実績・成果



保護者の方へ

呼子笛をプレゼントします!

こんにちは。私たちは片瀬地区社会福祉協議会 青少年・子育て福祉部会です。

桜の咲く頃、色々な思いを感じながら校門をくぐり、本日一学期が終業しました。

お子様は学校生活にも慣れ、勉強に遊びにと、行動範囲も広がってきていると思います。

私たちは子ども達の健やかな成長を願いまして、入学のお祝いに呼子笛をプレゼントいたします。

毎日の生活の中で安全に暮らせるよう、お子様と話し合って使用していただけたらと思います。

私たちも「地域で子育てを」と思い、保護者の皆様と共に歩んでいけたらと思っています。

何かありましたら、気兼ねなく、ご相談下さい。

2017年(平成29年)7月

子ども達が元気に楽しく、生活することが出来るよう片瀬地区福祉協議会としても見守っていることを保護者へ周知することができた。

4.今後の取り組み

来年度以降も継続して実施する予定。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～3～

1.事業名称

かたせ・にこにこ広場に協力

2.事業目的・内容

子育て中の親子を地域で見守り、親同士の情報交換の場を提供しています。朝、10時になると、ボランティアセンターには乳幼児を連れのお母さん達が集まって来ます。お母さん達は子ども達を遊ばせながら、おしゃべりに花を咲かせています。お昼になるとおもちゃを片付けて、机と椅子を出し、手洗いもちゃんと出来、皆で”いただきます”で楽しいランチタイムです。臨床心理士の原さんは、幼児を遊ばせながら、お母さんの相談相手にもなっています。

3.事業実績・成果

当部会では原則毎月第2木曜日を担当しています。

				人 数	従事者人数
平成30年	4月	12日	30名	親子 (15組)	8名
	4月	19日	26名	親子 (13組)	6名
	5月	10日	39名	親子 (21組)	4名
	5月	17日	40名	親子 (21組)	5名
	6月	14日	10名	親子 (6組)	5名
	6月	21日	42名	親子 (19組)	5名
	7月	12日	20名	親子 (10組)	4名
	7月	19日	38名	親子 (17組)	5名
	8月	9日	26名	親子 (12組)	6名
	9月	13日	35名	親子 (18組)	8名
	9月	20日	27名	親子 (13組)	7名
	10月	11日	13名	親子 (6組)	3名
	10月	18日	33名	親子 (13組)	4名
	11月	8日	32名	親子 (15組)	6名
	11月	15日	43名	親子 (21組)	7名
	12月	13日 (クリスマス会)	92名	親子 (45組)	10名
	12月	20日	38名	親子 (17組)	8名
平成31年	1月	10日	18名	親子 (8組)	9名
	1月	17日	27名	親子 (12組)	8名
	2月	14日	25名	親子 (12組)	8名
	2月	21日	16名	親子 (7組)	7名
	3月	14日	16名	親子 (9組)	7名

初めて赤ちゃんが誕生し、嬉しさと不安が入り混じり、子育ての大変な時、保健師の1ヵ月検診でかたせ・にこにこ広場を知り、集まってくるお母さん達も多くいます。情報交換をしながら、臨床心理士の原さんのアドバイスもあり、楽しい時間を過ごしています。2人目、3人目が生まれます等、嬉しいニュースも聞かれます。



4.今後の取り組み

地域で楽しく子育てが出来るように取り組んでいきます。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～4～

1.事業名称 出張かたせ・にこにこ広場(まちづくり協議会ボランティアセンター運営委員会)事業に協力

2.事業目的・内容 片瀬は片瀬海岸から片瀬山まで、広い地域なので、なかなか、ボランティアセンターまで出かける事が大変な方もいらっしゃるのではないかと思います、こちらから出かけて行きます。
西浜公園、片瀬中学校、浪合市民の家、しおさいセンター(ふれあいルーム)、4か所で開催しています。
片瀬中学校では、お休み時間になると、中学生が赤ちゃんを抱っこしたり、おもちゃで遊んだり、楽しい時間です。
しおさいセンターは3月のお雛様の時期の開催なので、寄付された着物やドレスを着て写真を撮ります。ふれあいルームは広いので大きなおもちゃを出して遊んでいます。

3.事業実績・成果	平成30年	人 数	従事者数
	6月 14日 西浜公園	16名 親子(8組)	8名
	7月 12日 片瀬中学校(図書室)	28名 親子(13組)	6名
	9月 16日 片瀬中学校(図書室)文化祭	20名 親子(9組)	4名
	10月 11日 浪合市民の家	11名 親子(5組)	8名
	平成31年		
	3月 7日 しおさいセンター	10名 親子(5組)	5名



4.今後の取り組み 大勢の親子が地域で楽しく子育てが出来るように、これからも出張にこにこ広場を続けていく。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（青少年子育て福祉部会）～5～

1.事業名称

認定こども園「ゆうゆうのもり幼保園」視察研修

2.事業目的・内容・実績

参加者:8名

平成17年に横浜市の「よこはま子育て支援計画」政策プラン構想に基づいて開設した施設。園長の渡辺英則氏の子育てに熱い情熱をもって作られた園舎は工夫をこらしています。園舎は中央に広いエントランスホールがあり、舞台や大階段の天井は大きなネットになっております。

そのネットの中に子どもたちが飛んだり跳ねたり段ボールで上から滑ったり遊んでいました。1階ホールの周りは6つか月～2歳児室2階の周りは渡り廊下があり、その周りに3歳～5歳のそれぞれの教室がありました。さらに2階の天井も秘密基地のような小さなスペースがたくさんあり、私たちでもわくわくするような仕掛けが作られています。子どもたちは出入り自由に好きなスペースで過ごして楽しい声が響き渡っていました。

子どもが子どもらしく育つことを第一に考えられた子どもが居心地の良い場所になっていました。

H27年に幼保一体化した「認定こども園」になり、幼保の垣根が低くなりました。生後6か月の赤ちゃんから年長までの子が一緒に暮らし、お互いに思いやる関係の中で共に成長していきます。ここでは赤ちゃんは布おむつを(レンタル)利用していて、赤ちゃんが気持ち悪い状況を保育士が声かけ対応する事を大切にしているとのことでした。若い先生方は、保育士と教諭の資格を両方持っているとのこと、一日子どもたちと過ごすのは本当に体力が必要だともいいました。教室から直接、庭やテラスに自由に入出入りできるようになっていて、外では泥んこ遊びや自分自分で工夫した遊びは楽しそうでした。園庭からは森や遊歩道につながっていて、横浜とは思えない自然豊かな環境でした。

3.事業実績・成果

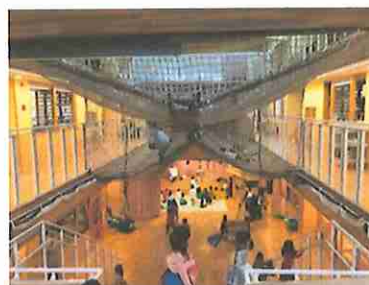
入園説明会で「危なくないか」とよく問われるが多少の危ない空間を小さい時から使いこなせる子どもは自分で危機管理が出来るようになる。子どもは考えて育ちいろいろな経験が自然に出来、その中で好きなもの楽しいことは夢中になり生きる力になる。小さなうちのマイナス経験、人間トラブルは成長に必要。親同士が顔見知りでお互い様と思える親になる。学校に入ってからだと難しいとのことでした。また、就労している親としていない親との関係も難しいようですが、ここでは出来る親は出来る所を協力し合ってうまくやっているととのことでした。

全体を通して、子どもが生まれてから、小学校に入学するまでの間、総合的に育つ場所が必要だと思いました。

それぞれ、片瀬の「にこにこ広場」にも共通することだと思い勉強になりました。

4.今後の取り組み

今後も実施する予定



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～1～

1.事業名称

地域にある生活支援グループを応援

2.事業目的・内容

「生活支援のボランティア集会」を企画・開催する。
この開催案内(パンフレット)を片瀬地区に配布し、片瀬地区で生活支援を行っているグループを紹介し、ボランティア活動に結びつける機会を提供する。

3.事業実績・成果

「ボランティア集会」の開催案内を二回に別けて発行した。
印刷はカラー両面刷り、地区内、全戸配布とした。
配布の一回目は開催二か月前、二回目は集会に参加する7グループのグループ名を記載し、三週間前に発行。
掲示場所は鉄道(駅)・自治町内会・市民の家・公民館・主な商店にお願いした。このことから、35名の個人参加が得られた。
ボランティアグループは7グループ、11名が参加し、紹介を行った。また、包括支援センターからも出席があった。

4.今後の取り組み

実施後のアンケート調査によると、此の企画の案内(ポスター)は個別配布で知った人が多くいた。そのため次年度も同様に案内を発行したい。

生活支援の ボランティアを やってみたい人！ 集まれ

●次のような生活支援の活動を行っているグループ(団体)から、活動の内容や参加の仕方など(活動内容)が、掲載されています。
●● 片瀬地区の生活支援の活動を行っているグループ(団体)の紹介です。

高齢者・子育て	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活

●日時：平成30年11月17日(土) 10時～12時
●場所：片瀬市民センター 2階ホール
●申込み：片瀬市民センター(11月10日～11月16日) FAX: (026) 80007
●問い合わせ：(026) 27111 FAX: (026) 80007
●参加費：11月(土)まで、事前に申込みを済ませてください。
●当日参加も可ですが、事前に申込みを済ませてください。
●主催：片瀬地区社会福祉協議会 生活支援部会

ボランティア(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会

生活支援の ボランティアに興味のある人！ 集まれ

●次のグループ(団体)から、生活支援の活動や参加の仕方などの紹介が、掲載されています。
●● 片瀬地区の生活支援の活動を行っているグループ(団体)の紹介です。

高齢者・子育て	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活
高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活	高齢者の生活

●日時：平成30年11月17日(土) 10時～12時
●場所：片瀬市民センター 2階ホール
●申込み：片瀬市民センター(11月10日～11月16日) FAX: (026) 80007
●問い合わせ：(026) 27111 FAX: (026) 80007
●参加費：11月(土)まで、事前に申込みを済ませてください。
●当日参加も可ですが、事前に申込みを済ませてください。
●主催：片瀬地区社会福祉協議会 生活支援部会

ボランティア(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会
お母さん(お母さん)の会

第一回 9月10日配布

第二回 10月25日配布

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～2・3～

1.事業名称 「生活支援のボランティア集会」の開催 生活支援に関する地域情報の共有

2.事業目的・内容

生活支援のボランティアを行ってみたい人達が、実際に生活支援を行っているグループの活動情報を入手し、自己に適したグループに参加し、ボランティア活動への道を開いてもらう。その後、自分が適していると思うグループのブースにて、個別相談を行い、ボランティア登録を行う。
この事により個々人に適した、グループで個人スキルの活用を図ってもらう。

3.事業実績・成果

11月17日(土)「生活支援のボランティア集会」を開催した。参加グループの活動情報を冊子にまとめて参加者に配布した。個人参加は35名、グループ参加は7グループであった。前半のグループ紹介と質問・回答を行った。後半は相談コーナーを設け、個々人とグループの相談を行った。このコーナーは中々盛況で、予定時間を少々オーバーしてしまった。今回の「意見交換会」に関するアンケート調査を個人とグループに別けてお願いした。この結果は、非常に満足・満足と回答ををいただいた。何れも直接対面形式で相談が行えたことが好評の一因であった。

<配布冊子>

資料名「生活支援のボランティア集会」・・・16ページ

<参加グループ名>

- (1) 鵜生園デイサービス
- (2) 移動サービス「ぎんのすず」
- (3) デイサービス まどい
- (4) 福祉ボランティア しおさい
- (5) 片瀬しおさい荘 デイサービス
- (6) 湘南ジモティ
- (7) 特別養護老人ホーム 鵜生園

開催後、ボランティアグループへの問い合わせがあり、活動に参加された方々があつた。

4.今後の取り組み

この「生活支援ボランティア集会」は、終了後のアンケート調査でわかったことであるが、このような企画は初めてと好評であった。次年度も継続して開催したい。



グループ活動の紹介



グループ別の相談コーナー

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～4～

- 1.事業名称 他地区生活支援団体訪問
- 2.事業目的・内容 他地域の生活支援団体を訪問し、他地域で活動している支援団体の活動状況を収集し、片瀬地区で生活支援を行っている団体への情報提供、新たに支援団体を興す際の参考情報として意見交換を行う。
- 3.事業実績・成果
訪問先施設:「サポートはますか」茅ヶ崎市旭が丘 8-15
平成30年2月21日(水) 10時30分～12時
参加者8名(生活支援部会員7名、会長)
・「はますか」の活動:介護保険でできないことを対象に、発足のきっかけから現在までの経緯と現在の活動状況を具体的に知ることが出来た。
・参加者と「はますか」の活発な意見交換が図れた。
・「サポートはますか」習田代表以下8名
・実施月日:H31. 2. 12(火)
- 4.今後の取り組み 介護保険で出来ないことを、他の地域ではどのように生活支援を展開しているのか、情報の収集を行い、当地区内に推奨事例として水平展開を図る。その為次年度も継続して実施したい。



「サポートはますか」前で



意見交換の実施模様

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（生活支援部会）～5～

1.事業名称 部会定例会

2.事業目的・内容 生活支援部会の活動を円滑に進めるために月1回の定例会を開催した。

3.事業実績・成果

5月11日	総会終了後、部会委員による年度計画検討と事業の進め方について確認。
6月4日	事業内容の確認 ・「ボランティア集会」を11月17日に開催 広報の方法は片瀬地区の住民に周知する。 ・「集会」開催の案内(パンフレット)の配布について、自治連の会議で協力依頼を行う。 ・生活支援部会のメンバーは生活支援活動の実施は担わない。もし担う場合は、個人としてボランティア団体に登録し、活動を行う。
7月5日	全部会委員が決定し「集会」の運営方法の検討 ・地域で活動している生活支援グループへ協力依頼事項の検討 ・片瀬地区へ案内配布手順検討。 第一回:9月上旬、第二回:10月下旬 市の広報発行時期に配布する。
8月30日	「ボランティア集会」開催の実行確認
9月27日	参加するグループ7つが決定。 「集会」予稿集の内容と第二回案内の仕様審議 二回目の案内パンフレットは、当初回覧周知することにして いたが全戸配布に変更
11月29日	「ボランティア集会」実施結果のまとめ 参加人数:35人…アンケート回収27人 参加グループ:7…アンケート回収5グループ
1月31日	茅ヶ崎市「サポートはますか」研修の事前内容確認 …2月12日実施
2月28日	「サポートはますか」研修結果のまとめ:8名参加 今年度実施事業内容の確認と次年度事業計画の検討。
3月28日	H30年度事業レポートのまとめ。

4.今後の取り組み 部会定例会は、施策事項を審議する会議とし、開催日時や内容・目的を事前に計画し、部会員の積極的な参加をお願いしたい。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (広報部会)～1～

1.事業名称

広報紙 社協だより「しあわせ」発行 全戸配布

2.事業目的・内容

地域に関係の深い福祉に関する情報発信

3.事業実績・成果

(1)第52号 平成30年6月25日発行



掲載記事

- ・平成30年度片瀬地区社会福祉協議会総会報告、役員一覧
- ・各部会事業計画
- ・片瀬市民センター新任職員紹介
- ・連載 しあわせとは「小さな幸せに気づく心」若林 直美さん

(2)第53号 平成30年12月10日発行



掲載記事

- ・生活支援ってなあに ボランティアしおさいの紹介
- ・他地区社協活動報告 ～鵜沼地区～
- ・連載 しあわせとは「小さな幸せ」林 陽生さん
- ・連載 わたしの健康法 岡田 カネ子さん
- ・連載 わたしの体験談 犬山 清一郎さん
- ・わたしたちの街の施設ご紹介 ～へいあん片瀬鵜沼～

4.今後の取り組み

地域で必要とされている身近な福祉の情報を収集し発信していく

5.備考

部会開催 年間 28回

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（広報部会）～2～

1.事業名称

「社協ニュース」発行

2.事業目的・内容

片瀬地区社会福祉協議会の事業案内及び報告

3.事業実績・成果

(1)第7号 平成30年11月25日発行～30年度前期事業報告～

掲載記事

- ・片瀬地区敬老会開催
- ・「介護をしている人のつどい」案内
- ・第41回ふれあいまつりに参加します
- ・生活支援部会「ボランティアをやってみたい人集まれ！」
- ・高齢者福祉部会「散策事業」報告
- ・青少年・子育て福祉部会 呼子笛配布・視察研修報告
- ・障がい福祉部会 「障がいのある子ってどんな気持ち？」

研修会の報告

- ・広報部会 広報誌「しあわせ」52号発行



(2)第8号 平成31年3月25日発行～30年度後期事業報告～

掲載記事

- ・賀詞交歓会
- ・福祉委員研修「鶴生園」視察
- ・「介護をしている人のつどい」
- ・高齢者福祉部会「散策事業」「元気シニア」
- ・青少年・子育て福祉部会「児童交流会」
- ・障がい者福祉部会 映画会「逃げ遅れる人々」
- ・生活支援部会 ボランティア集会開催、訪問研修「はますか」
- ・広報部会 広報誌「しあわせ」53号、「社協ニュース」7号発行



4.今後の取り組み

地域住民の方々が地区社協の事業に関心を持ち、より多くの方々に理解され参加していただけるよう、事業案内を発信していく

5.備考

部会開催は広報紙「しあわせ」と同日

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（広報部会）～3～

- 1.事業名称 ポータルサイトの社協ホームページ発信
- 2.事業目的・内容 片瀬地区社会福祉協議会の事業案内及び報告
- 3.事業実績・成果 新体制のスタート、敬老会報告など、片瀬地区全体及び、
- 各部会の事業案内・報告を年10回発信した。
- 4月1日から新しいサイトに移転いたします。
新しいポータルサイトのURLは
- <https://chiiki-bosai.jp/index.php?gid=10208>
- です。なお、サイト内の全てのページが移転しますので、「お気に入り」「ブックマーク」に登録されている方は、ご面倒をおかけしますが、新しいサイトが立ち上がり次第、個別に変更をお願いします。
- ※平成31年3月までの総閲覧数は41,100余りです
- 4.今後の取り組み より多くの方に地区社協の事業内容を知っていただくため、発信回数を増やす



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～1～

1.事業名称

地区敬老会

2.事業目的・内容

高齢者の長寿をお祝いするため開催。藤沢市との共催事業

協力団体:片瀬地区民生委員児童委員協議会

片瀬地区交通安全対策協議会

対象者:83歳以上の高齢者

市長出席の式典の後、昼食をはさんで、地元の保育園児による歌、民生委員有志のダンス。

また、参加者全員で歌を唄うなど、楽しい時間を過ごしていただいた。

3.事業実績・成果

実施日 平成30年9月5日(水)・6日(木)

実施場所 藤沢市民会館 第1展示ホール

参加者 224名(対象者217名 付添い7名)

関係者 市長、来賓14名、福祉協力者46名、民生委員31名、

看護師1名、交対協4名、事務局12名

4.今後の取り組み

市との共催事業により今後も実施



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～2～

1.事業名称

敬老事業

2.事業目的・内容

- ① 満100歳をお迎えの方々に藤沢市長の訪問に併せて、地区社協よりお祝い金1万円を民生委員を通じて差上げました。
- ② 今年度より90歳をお迎えの方々に地区社協よりお祝い金3千円を民生委員を通じて差上げました。

3.事業実績・成果

実施人数 : ① 4名
② 87名

4.今後の取り組み

- ① 満100歳のお祝い金については来年度も実施予定。
- ② 90歳については、対象者の増加により、予算の負担増が予想されるため来年度は実施せず。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～3～

- 1.事業名称 地区新年賀詞交歓会
- 2.事業目的・内容 片瀬地区自治町内会連絡協議会と共催事業として、地域の方々をお呼びして新年のあいさつと交流を深める。
- 3.事業実績・成果 1月12日(土) 午前11時より 片瀬市民センターホールにて
参加者：162名 (演芸出演者を含む)
- 4.今後の取り組み 地区自治会町内会連絡協議会との連携事業として、今後も継続していく。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～4～

- | | |
|-----------|--|
| 1.事業名称 | ねたきり高齢者への見舞い品贈呈 |
| 2.事業目的・内容 | 地区のねたきりの高齢者の方々に少しでも快適な生活を送っていただけるように、民生委員を通じて介護に役立つものを贈らせていただいた。 |
| 3.事業実績・成果 | 品 物 : 保湿ティッシュ
対象人数 : 18人 |
| 4.今後の取り組み | 今後も少しでも快適な生活を送っていただけるように継続していく。 |

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～5～

- 1.事業名称 家族を介護している人のつどい
- 2.事業目的・内容 これから介護を始める人、いま介護中で悩んでいる人、疲れている人、介護が終わったけれどこれでよかったのかと気持ちが解放されていない人が、周囲に気兼ねしないで話し合いができる場を提供する。片瀬いきいきサポートセンター職員と社会福祉法人上村鵠生園の職員が同席し、話し合いに加わる。
- 3.事業実績・成果
- 実施日 第1回 平成30年7月19日(木)
参加者 7名
- 実施日 第2回 平成30年9月20日(木)
参加者 9名
- 実施日 第3回 平成30年12月8日(土)
参加者 6名
- 実施日 第4回 平成31年2月21日(木)
参加者 7名
- 実施時間 10時～11時30分
- 実施場所 片瀬市民センター 第2談話室
- 4.今後の取り組み 周囲に気兼ねせず、話し合える場を提供するため、今後も継続していく。

片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～6～

- 1.事業名称 地区ふれあいまつりへの協力
～福祉バザー・掘り出し市～
- 2.事業目的・内容 片瀬ふれあいまつり(公民館まつり)の一環として、ご家庭で使わない品物をご寄付いただき、福祉バザーを開催。バザーの収益金は地域の福祉活動に還元するため、片瀬地区社協の事業費とする。
- 3.事業実績・成果 福祉バザー 実施日 : 平成30年10月27日(土)
実施場所 : 片瀬市民センター ホール
- 掘り出し市 実施日 : 平成30年10月28日(日)
実施場所 : しおさいセンター 外テント
- 合計売上金 204,020円
- 4.今後の取り組み 公民館との共催事業により今後も実施



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業) ～7～

- 1.事業名称 地区ふれあいまつりへの協力
～藤沢炒麺販売～
- 2.事業目的・内容 片瀬ふれあいまつり(公民館まつり)の一環として、藤沢市内で収穫された小麦粉を使った地粉の麺、同じく地元の野菜を使った「藤沢炒麺」を販売
収益金は地域の福祉活動に還元するため片瀬地区社協の事業費とする
- 3.事業実績・成果 実施日 : 平成30年10月28日
実施場所: しおさいセンター 外テント
売上金: 62,300円
- 4.今後の取り組み 従事者の負担軽減のためふれあいまつりでは、福祉バザー・掘り出し市のみ実施する。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～8～

1.事業名称

日赤社資増強運動

2.事業目的・内容

日本赤十字社は、国内外の救援活動をはじめ、地域のニーズに応じた福祉ボランティア活動、その他広く事業を展開しています。事業資金は赤十字の事業の賛同者から、自治会・町内会を通じて寄せられた「社資」により支えられています。

3.事業実績・成果

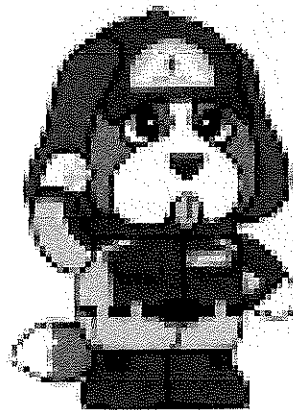
募集期間 ： 平成30年5月～6月

地区実績額 ： 1, 303, 350円

市社協へ送金。

4.今後の取り組み

市社協への協力として、今後も継続・協力していく。



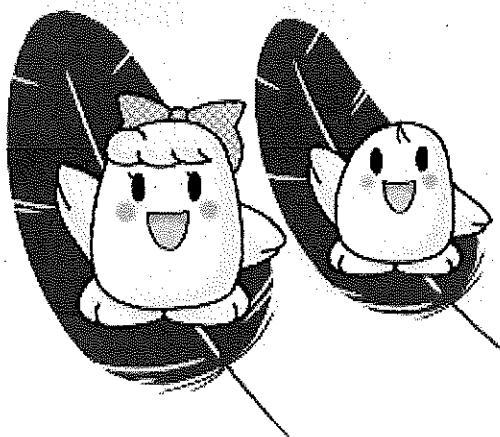
片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～9～

1.事業名称 赤い羽根共同募金の推進

2.事業目的・内容 地域福祉の増進を図るため、県民の助け合いの心を振興し、その結晶である寄付金は、地域の中で様々な活動を展開する民間の福祉団体を支える資金として、有効に活用され、福祉の向上に寄与されます。募金は自治会・町内会を通じてご協力いただきました。

3.事業実績・成果 募集期間 : 平成30年 10月
地区実績額 : 1, 431, 200 円
市社協へ送金。

4.今後の取り組み 今後も継続・協力していく。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書（その他の事業）～10～

1.事業名称

年末たすけあい募金運動の推進

2.事業目的・内容

地域の寝たきり、認知症、ひとり暮らしの高齢者、障がい者など、介護を必要とする人々や、ひとり親、子育ての中の世帯、在住外国人など生活基盤が弱く支援を求める人々など誰もが住み慣れた地域で安心して生活をしていくためには、行政の施策と相まって、地域の問題を互いに協力し合い解決していく取り組みや、年間を通じた計画的な援助が必要なため、年末たすけあい運動が展開されています。募金は自治会・町内会を通じて協力をいただきました。

3.事業実績・成果

募集期間 ： 平成30年 12月

地区実績額 ： 550,800円

市社協へ送金

4.今後の取り組み

今後も継続・協力していく。



片瀬地区社会福祉協議会 事業報告書 (その他の事業)～11～

- 1.事業名称 車いすの貸し出し
- 2.事業目的・内容 片瀬地区在住の方で通院・外出・一時退院・墓参りなどに利用していただけるよう社協の車いすを貸し出ししています。
片瀬市民センター福祉窓口までお申し出下さい。
貸し出し期間は1ヵ月以内でお願いしています。
- 3.事業実績・成果 保有数 : 片瀬市民センター 7台、しおさいセンター 3台
貸し出し実績 : 66台 (平成31年3月末)
- 4.今後の取り組み 今後も継続していく。
- 5.備 考 段差を乗り越える際などの操作をスムーズにする。「JINRIKI」もあります。

